

地質サイトカード

カードNo.		A-①-16	通しNo.	16	作成日	2025/7/10	
サイト名		みほのせきいんせき 美保関隕石					
基本情報	エリア	島根半島 探訪サイト					
	区分	☒ 地質・地形		☐ 生態	☐ 文化		
	利用価値	☒ 科学		☒ 教育	☒ 観光・ツアー		
	所在地	松江市美保関町七類					
	アクセス	メテオプラザまで松江だんだん道路川津ICから約18km、約25分。七類港にあるフェリー発着場の西隣り。					
	周辺施設	☒ トイレ ☒ 売店 ☒ 飲食店 ☒ 駐車場(40 台) ☐ ウォーキングコース ☐ サイクリングコース ☐ 観光施設()					
	看板整備						
	留意点					位置情報	e-2
保護・保全	法規制・関連団体等						
	保全メモ						
サイトの解説	みどころ	美保関町惣津の民家に落下した石質隕石の展示。					
	地質・地形	美保関隕石は、1992（令和4）年12月10日21時頃、松江市美保関町惣津の松本氏宅に落下したもので、大きさは25.2×14.1×10.6cm、重量は6,380gで、現在は七類港にあるメテオミュージアムに所蔵・展示されている。メテオミュージアムから惣津方面に道路沿いに進むと、「美保関いん石落下地（松本邸）」とかかれた看板があるため、その方向に行くと松本氏宅に到着する。1994（令和6）年には隕石落下地に記念碑が建てられた。隕石が地球に落下する際、多くは大気圏で燃え尽きてしまう。地上に落下した場合も落下地点が不明な場合が多く、美保関隕石のように落下直後に隕石が見つかることは稀である。美保関隕石は、当時国立科学博物館 島 正子 室長らにより専門的な研究が行われ、主にかんらん石、輝石などの珪酸塩鉱物からなる石質隕石であることがわかった。さらに、それらの珪酸塩鉱物が球粒（コンドリュール）を形成する球粒隕石（コンドライト）である。					
	歴史・文化 生物・生態 等	同町・七類（しちるい）港にあるメテオミュージアムに所蔵・展示されている。					
写真・図等				 chondorite			
参考文献		安部裕史(1993)宇宙からの贈りもの「美保関隕石」、島根県地学会会誌、8、41－44、島根地質百選編集委員会編 島根の大地見どころガイド 島根地質百選、今井出版。					